



やまなみ

山形市立大曾根小学校
学校だより
令和3年9月28日
校長
No. 8 太田 千春

地域文化の伝承～地域学校協働活動の推進～

第6学年の総合的な学習の時間において、大曾根音頭の伝承に向けた活動に取り組んでいます。先日、大曾根音頭保存会会長の星野みち子さんをお迎えし、踊り方を教えていただきました。これまで、地域の夏まつりや文化のまつり等で踊りに慣れ親しんできた子供たちですので、見よう見まねですぐに踊ることはできましたが、正しい踊り方をきちんと教えていただくのは初めての機会でした。

新型コロナウイルスの感染症の感染拡大に伴い、地域の行事等も中止を余儀なくされ、地域の子供としてそれらに参加する機会も激減しました。そんな折、山形新聞に掲載された記事を読んで「大曾根音頭」の伝承に携わっている地域の方々の思いを知り、地域を元気にするために、自分たちにも何かできることはないかと思い立ち、今回の活動となりました。

今後、子供たちが何をどのように考え、地域文化の伝承に向けてどんな活動を展開していくことができるか、楽しみにしているところです。



オンラインダンス教室

山形市内小・中学校における「感染拡大防止特別集中期間」の延長に伴い、当初予定していたダンス教室を、Zoomを使ったオンラインで実施しました。

子供たちは、プロジェクターで映し出された映像を見ながらステップを教わります。K-POPの軽快な音楽に合わせたダンスのもつ力は素晴らしく、子供たちの表情もすぐに笑顔に変わりました。ダンスの先生も、子供たちの映像をその都度確認し、双方向のやり取りを交えながら御指導くださいました。

オンライン教室は、各学年2回ずつ、計4回実施しました。また、感染防止特別集中期間が終わったら、来校して対面で御指導くださることになっています。子供たちの元気いっぱいのダンスは運動会で披露する予定ですので、楽しみにお待ちください。

～感染防止特別集中期間～



学校保健実習

9月14日（火）、山形大学医学部看護学科の4年次学生5名による学校保健実習が本校で行われました。実習生5名は、それぞれ看護師や助産師を志している学生でしたが、子供たちといっしょに学校生活を体験し、養護教諭の役割や保健室の機能について学ぶとともに、学校教育における保健活動についての理解を深めました。帰りの会では、全学年の子供たちが正しいマスクの付け方や手洗いの仕方などを教えていただきました。全校で実践できるようにしていきます。



中秋の名月

2021年の中秋の名月は、9月21日でした。今年は8年ぶりの満月にあたり、学校の昇口にもススキとだんごをお供えて、一足先に月を愛でてみました。中秋の名月とは、旧暦の8月15日の夜に見える月のことをいい、中秋の名月を愛でる習慣は平安時代に中国から伝わったといわれています。幸い、夜もよく晴れていたため、お月見を楽しまれた御家庭も多いのではないでしょうか。6年生は、地球から見た太陽と月との位置関係をおさらいすることができましたか！？



「標語」に思いを込めて

青少年健全育成連絡協議会の皆様から、6年生がつくった標語の立て看板を設置していただきました。標語は、交通安全やあいさつの大切さ等と呼びかけており、立て看板を目にした子供たちも、足を止めて読んでいました。6年生一人一人が標語に込めた思いが、全校児童に、そして、地域へと拡がり、より一層、安心・安全な大曾根地区になることを願っております。



大曾根小学校 六年生標語

青信号 右左右見てわたろう

阿部 陽色

気をつけて横断歩道 わたろうよ

岸 朝陽

信号をよく見てわたろう 注意して

岸 梓紗

守ろうよ 一人じゃないよ みんないる

岸 優衣斗

あいさつを みんながすれば 明るくなる

寒河江 碧生

自転車の右側運転 危ないよ

佐藤 碧

危険だよ まがり角では とび出し注意

高橋 晴夏

ありがとう つなごう みんなで よいくらし

土屋 美月

気をつけて 右左右 見てわたる

原田 逢音

自転車を おりてわたろう おうだんぼどう

峯田 さくら

危険だよ 夜に一人で 歩くのは

渡邊 結